

「遍路旅で感じた 歩く人への思いやり」



フリーライター
柴田 依里

歩き旅のシステムが整った四国

2年前の2002年4月から5月にかけて、四国八十八ヶ所を遍路した。四国4県を一周する総行程は約1200キロ。1日平均30キロで44日、毎日歩いた。特別信仰心があったわけでも、何かの供養とか願掛けが目的ではない。歩くという最も遅い移動手段で旅をしたらどんな発見があるのだろう、自分がどう変わるのだろうという好奇心と冒険感覚が主な理由だ。ただ歩くのなら北海道一周でもいいのだが、四国を選んだのは、すでに歩き旅のシステムが整っているであろうという安易な発想からだ。

歩き旅、歩き遍路はここ数年、ブームとも言える状況が続いている。おかげで、旅に必要な情報も充

実していて、装備一切から心得、費用、行程のモデルケースなどは北海道に居るうちに出版物やインターネットで入手できた。

歩き遍路が辿る道は、車や観光バスで遍路する人たちとはいくらか異っていて、地元の「へんろみち保存協会」ら有志によって調査し、守られている昔からの「遍路道」である。札所（寺）と札所を結ぶ道中には、昔からある「へんろ石」と呼ばれる道しるべや、「四国のみち」と書かれた各県の道しるべ、さらに、先に述べた保存協会が貼った道案内シールや短冊が所要所に施されている。もちろん、歩きのためのルートマップも出版されており、そこには遍路道沿いの宿や商店の情報も網羅されている。

程度の差こそあれ、歩き旅のシステムが整ってい



時代の異なる道しるべが並ぶ（徳島県）



詳しい解説が付いたへんろみち保存協会の道しるべ（香川県）

るのは四国だけではないだろう。例えば熊野古道なども道案内、宿など充実している。しかし、四国が特別なのは、地元の人々の遍路という旅人への接し方だ。四国では遍路に親切することを「接待」と言う。接待の中身はいろいろで、たとえば道を教えるのも、食べ物やお金を渡すのも、宿を貸すのも接待。接待はなにも遍路が偉いからしてもらえることではなく、する側の功德にも繋がるという思想が広く定着している。また、歩き遍路だけに施されるものでもないが、歩いている方が車や観光バスの遍路に比べ、地元の人と接する機会が多いため、いただくものも多い。

路肩の遍路を見逃さない 余裕ある運転

遍路道と言っても、特別な遊歩道があるわけではない。市民の生活道路、旧街道、田畑の間のあぜ道や、山越え、峠越えの登山道、中には、遍路道そのものが国道になってしまったため、歩道や路肩を車の通行を気にしながら歩かなければならないところも少なくない。山越えも苦しいが、私が一番苦手だったのは国道だ。特に、海岸沿いのまっすぐな国道を潮風にあおられながら歩いた高知県は、今思い出しても辛い。集落と集落に距離があるところでは、休憩しようにも商店はもちろん民家もない。地元の人なんて歩いているわけがなく、前後の遍路と追い付き、追いこされでもしない限り、半日以上、挨拶をかわすこともない。歩道もなく、路肩の狭いところでは、リュックや金剛杖を車にひっかけられやしないかと、びくびくしながら歩く。さらに怖いのが

トンネル。目立つ白装束を身にまとっているとは言え、路肩は狭く逃げようがないし、音も排気ガスもこもって苦しいことこの上ない。

車を運転する方にとっても、歩き遍路の存在は迷惑なものだろう。旅に出る前の自分の運転や車生活を考えればそう思わざるを得ない。しかし、驚いたことに、車をとめて「この辺自販機もないでしょ」と冷たいジュースを差し出してくれたり、ヒッチハイクしているわけでもないのに、雨の中や、日暮れ近くに国道など歩いていると「大丈夫かい？」と車が止まってくれることも一度や二度ではなかった。2キロ近い長さのあるトンネルを目前に、手ぬぐいをマスクにして体制を整えていたら、「歩くのも修行だろうけど、ここだけは乗りなさい。トンネル抜けたらすぐに下ろしてあげる」と説得され、トラックの助手席に乗せていただいたこともあった。

四国に居たのはたった1ヶ月半だったが、その間、交通事故を目撃したことも、遍路が轢かれたなどというニュースも耳にしなかった。平成15年中の都道府県別交通事故死者数を調べてみると、高知県は46位、徳島県45位、香川県30位、最も多い愛媛県でも23位にとどまっている。ドライバーの意識だけが交通事故死亡事故の原因ではないが、路肩の遍路を日常的に気づかう人の心も多少の関係があるのではないかな。

最近は少なくなったが、夏になると本道でも歩き旅の人や自転車で旅する人たちを目にする。私もハンドルを握るものとして、心優しい運転者であらねばと思う。



お接待下さったおじさんと記念撮影（徳島県）

柴田依里

Profile

大阪市出身。1995年に札幌に移住、2003年からニセコに拠点を移し、主に旅のコラムなどを執筆する。